

国際会議から

第54回大型風洞会議年次大会

SATA (Subsonic Aerodynamic Testing Association) は、世界の亜音速の大型風洞を所有する機関による協会で、鉄道総研も会員となっています。このSATAの第54回年次大会 (54th Annual Meeting of SATA) が、2018年6月3日から7日までの5日間の日程で開催されました。SATAの会員になるには審査があり、大型風洞を所有するボーイングやエアバスなどの航空機メーカー、BMWやホンダなどの自動車メーカー、NASAやJAXAなどの研究機関、大学などが会員となっています。年次大会では、自分たちの風洞設備や風洞実験による成果を発信するとともに、他の風洞が行っている実験内容、設備改修、実験ニーズの動向、実験ノウハウなどについて情報交換を行っています。

風洞技術センターでは、2020年にSATAの年次大会を誘致する計画があります。年次大会の開催場所は、開催



井門敦志  
風洞技術センター  
所長

の2年前の年次大会において誘致プレゼンテーションを行い、会員の投票により決定されます。2018年の年次大会では、2020年の誘致に、風洞技術センター、同済大学(上海)、IAI(イスラエル)、ONERA(フランス)の4機関が立候補しました。風洞技術センターは、米原風洞の性能や開催場所の京都の魅力を10分間のプレゼンテーションで会員にアピールしました。各機関のプレゼンテーション後に投票(1機関1票)が行われ、決戦投票の末に2020年のSATAの年次大会を誘致することができました。

世界の大型風洞会議の開催や参加を通じて、今後とも、鉄道総研の大型低騒音風洞での成果を発信し、また、風洞実験技術レベルの向上に努めてゆきたいと思っています。



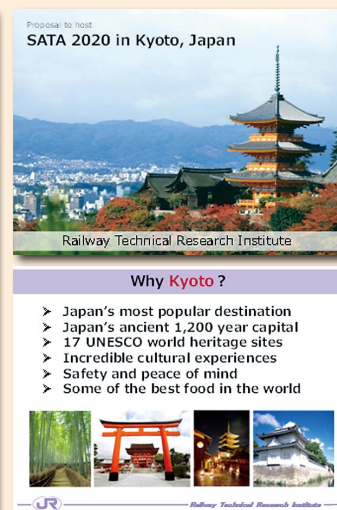
会議の様子

正式名称：54<sup>th</sup> annual meeting of SATA  
 開催国：イギリス(サットンスコットニー)  
 期間：2018/06/03~07  
 主催：Subsonic Aerodynamic Testing Association  
 開催頻度：年1回  
 次回開催予定：2019年6月 カナダ(トロント)  
 ホームページURL：http://www.sata.aero

【投票結果】

第1回投票 風洞技術センター：12票、同済大学：12票  
 IAI：10票、ONERA：4票  
 第2回投票 風洞技術センター：24票、同済大学：20票

注) IAI：イスラエル・エアロスペース・インダストリーズ  
 ONERA：フランス国立航空宇宙研究所



ホストプレゼンテーションスライド例